外壁タイル面保護透明塗装
目地保護

溶剤工法
（セブン Sトップ M#30）

施工要領書

2025 年 1 月改訂版

Seven Chemical
株式会社 セブンケミカル

目次

1.　外壁タイル面保護透明塗装標準工程 3

2.　適応下地 3

3.　施工条件 3

4.　施工上の注意 3

5.　使用材料一覧表 4

1．外壁タイル面保護透明塗装標準工程

<table>
<tr><th colspan="2">工　　程</th><th>使 用 材 料</th><th>希 釈
(重量比%)</th><th>塗付け量
(kg/㎡)</th><th>工程時間
(時間)</th><th>施 工 方 法</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1回目塗り
(艶有/半艶)※</td><td rowspan="2">セブンSトップ M＃30</td><td rowspan="2">無希釈</td><td>0.12
～0.15</td><td>2以上
8以内</td><td rowspan="2">中毛ウールローラー</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2回目塗り
(艶有/半艶)※</td><td>0.12
～0.15</td><td>24以上
最終生</td></tr>
</table>

下地の吸い込みが多い場合は、樹脂の吸い込みが多く白くぼやけてしまう恐れがあります。その場合は１回目の塗り付けは「艶有」を塗装してください。

※トップコートの２回塗は当日中で仕上げてください。(高温時の施工の場合、当日でもリフティングの恐れがあるので指触確認し乾燥していれば、すぐに追いかけ塗してください。)

2．適応下地

タイル・ガラス(本施工要領はタイルへの内容です。)
他下地についてはご相談ください。

3．施工条件

① 外気温が5℃以下 35℃以上、湿度は80％Rh以上の環境での施工は避けてください。
(外気温だけではなく躯体温度も含まれます。)
② 施工時及び材料の乾燥硬化の過程で降雨が予想される場合は施工を避けてください。
③ 施工前後で結露・霧・雪・霜等が予想される場合は施工を避けてください。
④ 強風の時は、塗材の飛散被害・塗付けムラ等の支障をきたしますので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
⑤ 全面を施工しない場合、取合い部から水分の影響を受けないようにシーリング目地で見切り施工を行ってください。
⑥ 花壇や擁壁など裏面からの水分の供給が予想される部分への施工は避けてください。
⑦ 材料は、風雨・直射日光を避け 5℃以上の冷暗所で保管してください。
⑧ 材料については SDS を確認してください。

4．施工上の注意

⑴ 下地処理

① 下地の欠損やタイルの浮き(タイル下地も含む)などの下地処理を適切に行ってください。
② シーリング材上への施工は避けてください。
③ シーリング材用プライマーやエポキシ注入材が、タイル表面に付着した箇所が経時後不具合を起す事があるので、表面に残らぬよう処理してください。
④ 施工前の意匠を残す工法ですので、下地洗浄やエフロレッセンスの除去などをしっかり行い残留物が残らないよう高圧水洗浄してください。
⑤ 水洗後のタイル面は十分乾燥させてください。

⑵ 仕上げ塗り

① セブン Sトップ M#30 は当日中に 2 回塗りしてください。

② セブン Sトップ M#30 は 2 液型塗材になりますので正しい比率で混合してください。（小分けする場合、予め十分に撹拌してから計量し小分けしてください。） 上記の理由から、少量使用の場合は、3kg セットをご利用ください。

③ 上塗材の半艶では、艶消し材が沈降していることがありますので、混合前にハンドミキサーで十分 撹拌し、塗棒、ヘラ等で缶のコーナー部の溜まりもキレイに落とし、良く混合してください。

④ 仕上げ面は、十分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生してください。

⑤ セブン Sトップ M#30 を塗り付ける際、気温が高く糸引きする場合や、気温が低く泡含みする場合には、「セブン Sトップ M#30専用シンナー」で 0～5%程度希釈、均一に混合し塗装してください。

⑥ 透明仕上げの為、塗り重ね回数による光沢の差異が生じてしまいます。目地部分で見切りながら塗るなどして塗継ぎの際、ラップによる光沢に違いの出ないよう施工を行ってください。

5. 使用材料一覧表

□ 荷　姿

製　品　名	容　量	荷　姿	備　考
2液型アクリルシリコン樹脂 （弱溶剤） セブンSトップM＃30 艶有・半艶	12kg セット	石油缶	基剤：硬化剤 11：1
	3kgセット	石油缶	基剤：硬化剤 2．75：0．25

株式会社 セブンケミカル

東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12F

TEL　03（6809）2597　　FAX　03（6809）2598

https://www.seven-chemical.co.jp